



平成 23 年 6 月 21 日

各 位

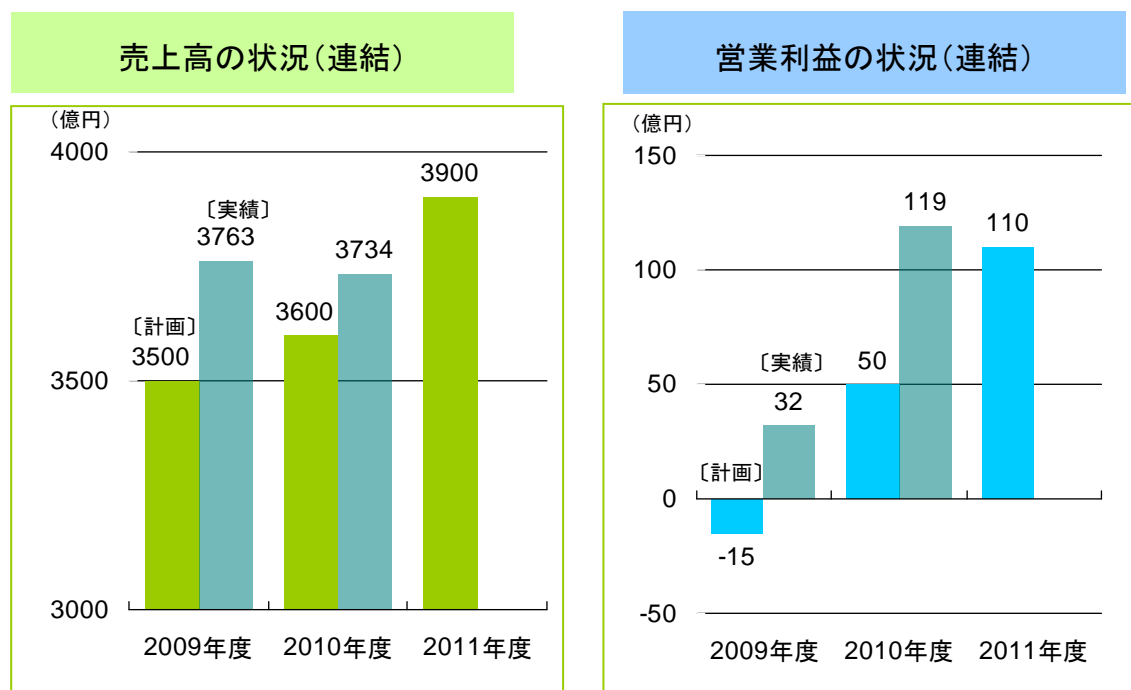
会社名 **フタバ産業株式会社**  
代表者名 取締役社長 三島 康博  
コード番号 7241 東証・名証第1部  
お問合せ先 常務取締役 佐々木 康夫  
TEL (0564) 31-2211

## 「VISION2020」および「中期経営計画（2011年度～2013年度）」策定について

当社は、本日開催の取締役会において「VISION2020」と「中期経営計画（2011年度～2013年度）」を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

当社は、2009年11月に「中期経営計画」を策定し、2009年度から3年間を再生期ととらえ、内部統制整備の充実、営業利益の黒字化、黒字体質の定着化を目標に事業活動を推進してまいりました。こうした活動の結果、2010年度は、連結売上高、営業利益とも計画を達成し、営業利益につきましては、2011年度計画を前倒しで達成いたしました。



また、2009年度時から外部環境の変化は大きく、当社においても「再生期」から「新たな成長へ向けてチャレンジ」する方向へ速やかに舵を切るため、中期だけではなく、さらに長期にわたる今後の経営方針、ならびに経営目標を示す「VISION2020」「中期経営計画（2011年度～2013年度）」を策定いたしました。

以下、「VISION2020」「中期経営計画（2011年度～2013年度）」の概要を記載させていただきます。

## I. 「VISION2020」の概要

2020年度にむけて、当社の目指す姿および数値目標を「VISION2020」とし、以下のとおり策定いたしました。

### 1. 当社の目指す姿

当社の目指す姿を以下のとおり「挑戦する人の集団」「モノづくりで社会に貢献」「新しい価値を世界へ提供」といたしました。

#### ①「挑戦する人の集団」

前例にとらわれず果敢に挑戦し、また挑戦する人を支援・育成します。

#### ②「モノづくりで社会に貢献」

社是である「よい品、より安く」をモットーに社会に製品を提供し、環境に優しいモノづくりを実践します。

#### ③「新しい価値を世界へ提供」

お客様のニーズを的確に捉えた製品を開発し、全世界へ提供します。

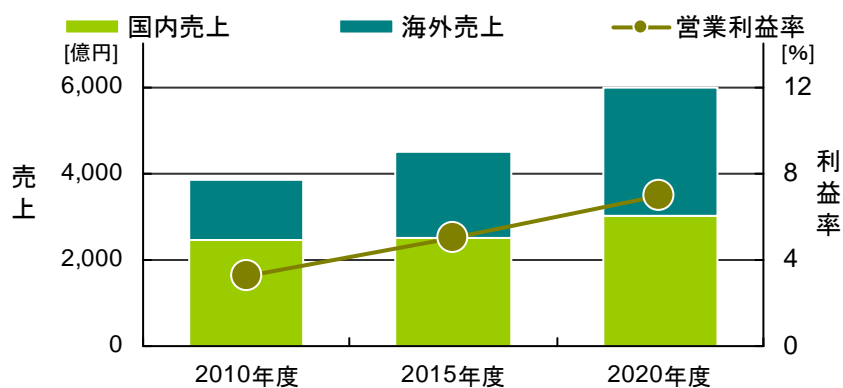
### 2. 長期目標

国内市場の成熟化および、新興国市場の成長性を考え、海外拠点を中国、東南アジアの新興国を中心に展開し、さらなる成長を目指してまいります。

また、当社のコア技術であるプレス・溶接技術を磨き、「環境」「省エネ」をキーワードに自動車部品事業を中心に環境関連分野へ商品を拡大してまいります。

こうした活動に対し、スピード感あふれる経営を行ってまいります。

2020年の目標として海外売上比率50%、連結売上高6,000億円、営業利益率7%を目指してまいります。



## II. 中期経営計画（2011年度～2013年度）

2011年度から2013年度までの中期経営計画として以下の5つの基本方針を設定いたしました。

### ① 企業競争力の向上

素早い意思決定、素早い行動を行うスピード経営を目指します。社会から信頼され期待される企業となるべくCSR経営を実行してまいります。

また以下の基本方針を確実に実行し、企業競争力を向上させてまいります。

### ② 強い現場力の構築

TPS（トヨタ生産方式）を基軸とした生産性向上活動を国内からさらにグローバルに展開し、需要の変動に柔軟に対応してまいります。

またシンプル、スリム、コンパクトな生産ラインを構築し、原価低減をさらに進めてまいります。自らの製品については自ら責任を持つ自工程完結のラインで品質を確保し、顧客満足度の高い製品の提供を行ってまいります。

さらに現場への権限委譲を行い現場の声を積極的に取り入れ、意思決定の迅速化と、改善活動のスピードアップを行い、強い現場を構築してまいります。

### ③ グローバル対応の強化

中国、北米に統括会社を設置することを検討しております。各地域における第2本社と位置付け、現地に即した意思決定を正確かつ速やかに行います。

また成長する新興市場へ足がかりとなる拠点を配置し、確実な参入をしてまいります。

### ④ 新成長分野への進出

自動車テクノロジーの進化に対応し、環境をキーワードとした商品の拡大につとめ、お客様のニーズを的確に捉えた商品開発を展開してまいります。排ガス浄化、ヒートマネジメント、軽量化等の技術開発を推進し環境対応車に適応する商品を強化してまいります。

また、自動車以外の分野においても環境配慮型社会に適応した商品の開発につとめ、当社のコア技術を異業種でも積極的に活用してまいります。

そのためのリソース確保のため、M&A、アライアンスの機会を積極的に探索し推進してまいります。

### ⑤ 個々の成長とチームワーク

グローバルに対応できる多様な人材を育成してまいります。コミュニケーション活性化活動をさらに推進し、立場を超えて助け合いのできる職場づくりを行ってまいります。またグローバルな視点での人材育成につとめ、海外の人材を受入れ、早期に育成し、海外事業体の成長スピードを向上させてまいります。

当社は2020年ビジョンに向けて、この中期経営計画を確実に実行し新たな成長へ踏み出していきたく存じます。

### 中期経営計画の数値目標

（単位：億円）

	2010年度実績	2011年度見通し	2012年度計画	2013年度計画
連結売上高	3,734	3,600	3,900	4,200
連結営業利益	118	80	150	175

（注）上記の数値のうち、2011年度、2012年度、2013年度は計画策定時における情報に基づき合理的に策定したもののですが、経営上の計画値であり、実際の業績とは異なる可能性があります。

以上